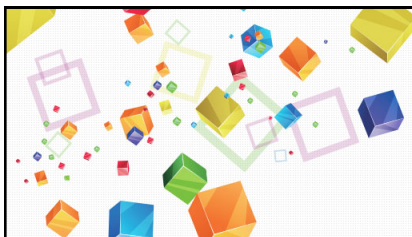




大人になるために 必要なこと 準備すること ～子どもの病院から成人の病院へ～

埼玉県立大学 櫻井育穂

fppt.com



お子様の来年、3年後、5年後について
考えたことがありますか？

お子様にはどのような大人になってほしいですか？
お子様がどんな大人になりたいか話していますか？
病気があっても色々な事に挑戦している先輩がたくさんいます。

お子様は将来どこで、何をしていますでしょう？

来年、3年後、5年後に 経験するかもしれない事

- 県外の学校や職場に通う
- 新しい友達ができる
- 一人旅や、友達と旅行に行く
- 一人暮らしをする
- 好きな人ができる
- 結婚する
- 子どもを産む（つくる）



・・・人によってさまざまです

その時も 子ども病院に通うのでしょうか？

今の先生に診てもらいたいけど、
遠くの学校に進学したり、就職したらどうなる？

一人暮らしをするかもしれない、
親が管理しなくても自分で薬は管理できるのかしら？

大人になっても具合が悪くなったら、子ども病院に
入院できるのかしら？

子ども病院にできること

小児科の先生は大人の患者の専門家ではない

子どもをつくる・産む時の医療、成人病（大人の病気）の治療は子ども病院ではできない

来年、3年後、5年後になって、
赤ちゃんや小学生のいる病棟に入院するのは
お子様にとっては居心地が悪いかもしれない

大人の医療への移行 （転院）

安心でもっとも適した
医療を継続するために

- ・ 子どもが成長するのと同じように、
病院も小児科から大人の医療へ移行する
- ・ 大人の医療へ移ることは、
お子様や医療者と相談し、
お子様にあった形や方法があります

選択肢は
1つではありません



移行期医療支援とは、
お子様が自分の病気を管理できるよう、大人の病院
へスムーズに移れるようサポートするしくみです。

大人の病院に行ったら どんな課題があるでしょうか？

- 自分の病気のこと、過去のことなどを知らない
医療者との関係を自分でつくる
- 医療者は、大人の患者（自分で相談し、自分で決めて、自分で行うことができる）として接する
- 医療費助成のしくみや入院体制が変わる



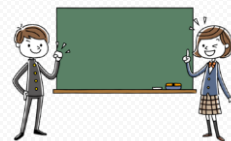
そのために、お子様と
一緒に準備することが
大切です

お子様が

大人になるまでに準備すること

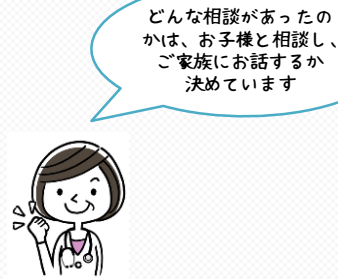
まずは、自分の身体健康についてよく知る

- ✓ 自分の病気（病名・病態・症状）
- ✓ 治療（これまで～現在）
- ✓ 処方されている薬の名前・内服の仕方・効果と副作用
- ✓ からだの状態を示す検査値
- ✓ 日常生活で気をつけること、制限、アレルギー
- ✓ 受診が必要な症状
- ✓ 体調が悪い時に必要な対応



ひとりで診察室に入り、先生と話す

- ✓ 一人で診察室にはいる
- ✓ 先生に自分の状態を話したり、質問に答える
- ✓ こんなことがしたい、と今できない事をできるようにお願いしてみる
- ✓ 心配なことを話す



自分でできることは、自分でやってみる

- ✓ 残っている薬の数を確認して、先生に必要な数を頼んでみる
- ✓ 家や学校で必要なケア（お薬を忘れず飲むなど）を、自分でやってみる
- ✓ 困った時に手伝ってもらえるよう、周りの人（学校の先生、お友達、部活の先生など）に病気について話してみる

困ったとき、
手伝ってくれる人はいるかしら？

お子様が困った時に、
助けを求められるよう
そばで見守っててください。



大人の病院に行くにはどうしたらよいの？

まずは、主治医の先生に
相談してください！

- 来年、3年後、5年後に向けて何を準備したらよいのか？
- いつまでこども病院に通うのか？
- 大人の病院に行っても大丈夫か？
- 遠い学校に進学するけど、どこにどんな病院があるのか？



移行期医療支援センターは、
お子様にあった、大人の病院を探すお手伝いをします。

最後に

- 大人の医療に移行することは、大人になるための通過点です。大切なことは、お子様の人生に適した医療が安心して継続されることです。
- 大人になる時期はそれぞれです。あせらず、今からできることを準備していきましょう。
- お互いに「もう大丈夫」と安心できるようにお子様と相談していきましょう。

